



長門の話題

第6回長門市消防操法大会

速く、しかも正確に

4月24日(日)、旧青海島小学校グラウンドで「第6回長門市消防操法大会」が開催され、「応急操法の部」に市内消防団9部隊が、「水バケツ消火技術の部」に婦人防火クラブなど5チームが参加。春風が時折強く吹く中、日頃の練習の成果を競いました。結果は次のとおりです。

- 【応急操法の部】
- 1位 日置分団第2部隊
 - 2位 深川北分団第3部隊
 - 3位 向津具分団本郷部隊
- 【水バケツ消火競技の部】
- 1位 明和倶楽部
 - 2位 福永病院
 - 3位 日置婦人防火クラブ



▲ねらいを定めて

▼バケツリレーはチームワークが重要



▲さざえB級グルメグランプリの審査

▼魚のつかみ取りは大盛況



第7回通なんでも市

気に入った料理はどれ？

5月4日(水)、通地区の小浦埋立地で「第7回通なんでも市」が開催され、魚のつかみ取りや鮮魚・加工品の販売、大抽選会、各種バザーなどを楽しむ家族連れや観光客など約5千人でにぎわいました。今回注目を集めたメインの企画「さざえB級グルメグランプリ」には、6団体が出

店。各店舗にはB級グルメを味わってみようと、たくさんの方が行列を作りました。購入した人には投票用紙が配られ、気に入った料理に投票して順位を決定しました。グランプリに選ばれたのは、新平会の「コロケさざえさん」で、見事賞金10万円獲得となりました。

通向岸寺で伝統の鯨回向

貴重な文化を受け継ぐ

5月2日(月)、通の向岸寺で鯨回向が行われました。鯨回向は捕獲した鯨の霊を慰めるために30年以上前から行われている伝統行事で、毎年この時期に実施されています。参拝した南野市長は「こうして鯨に戒名をつけて菩提を弔うのは極めて貴重な文化で

す。この文化を長年にわたって伝承された地域の皆さんの厚い信仰心に深く敬意を示します」とあいさつ。その後、通鯨唄保存会により「通鯨唄」が奉納された後、向岸寺松村住職らによる法要が行われ、参列者全員が焼香をして鯨の霊を慰めました。



金子みすゞ記念館に100万人目のお客さん

開館から2956日で達成

5月10日(火)、金子みすゞ記念館の入館者数が100万人を達成しました。100万人目となったのは、愛知県豊川市から夫婦で来館した黒野昌寛さん。南野市長から花束が、矢崎館長から記念書籍が手渡されたほか、数々の記念品が贈られ感激した様子でした。

黒野さんは「以前から、一度はここに来てみたいと考えていました。みすゞさんの詩の中にある『みんなちがって、みんないい』という言葉は、個性の大切さを子どもたちに伝えられる、とてもいい言葉だと思います。本当に来てよかったです。」と話しました。



被災地での活動を終えて

又賀千恵美さん(長門市役所保健師)

「今年、小学校に入学する予定の孫でした。『じいちゃん、こわいよう』という最後の言葉がどうしても頭から離れません、というお孫さんを亡くされた方の話を聞き、胸が苦しくいたたまれない気持ちになりました」と話すのは長門市の保健師、又賀千恵美さんです。4月22日(金)から8日間にわたり、震災被災地の宮城県東松島市で支援活動を行いました。

管理、在宅被災者の家庭訪問などを行っていました。



▲現地でのチームの対策会議

又賀さんは山口県の支援チーム第8班に所属し、避難所の衛生管理や避難者の健康

な症状が見られました。派遣期間は終わりましたが、今後も自分でできる支援を続けていきたいです」と語りました。

